

トヨタ純正

リヤアシストグリップ

取付要領書

このたびは、トヨタ純正「リヤアシストグリップ」をお買い上げいただきありがとうございます。
本書は、「リヤアシストグリップ」の取り付け要領について記載してあります。
取り付け前に必ずお読みいただき、正しい取り付けを行ってください。

品番

品番	082B0-26010
----	-------------

構成部品

No	品名	品番	個数
①	アシストグリップ	74603-44020	1
②	プラグ A	74617-44020	1
③	プラグ B	74617-44010	1
④	スクリュー (M6×20mm)	90159-60531	2
⑤	ボルト (M6×20mm)	93385-16020	4
⑥	ブラケットA	—	1
⑦	ブラケットB	—	1
⑧	カバー	—	1
⑨	パッド A	—	1
⑩	パッド B	—	1
⑪	インプルナット	—	4

取付上の注意事項

この取付要領書では安全な作業をしていただくため、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しています

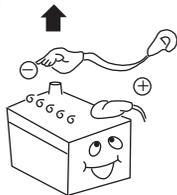
⚠ 注意 ……注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷するなどの恐れがあります

👉 アドバイス ……スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています

1. 車両部品の取りはずしに際して、タッピングスクリューやボルト・ナット類の紛失や混乱がないように部品毎に整理して、復元する際間違えないように配慮してください。また、部品に傷をつけたりしないように取り扱いに注意して作業を行ってください。
2. 作業を行う前にバッテリーの(-)側ケーブルをはずしてください。
3. バッテリー復元作業終了後に、車両機能部品の初期化が必要な部品があります。
作業終了後には必ず初期化作業を行ってください。

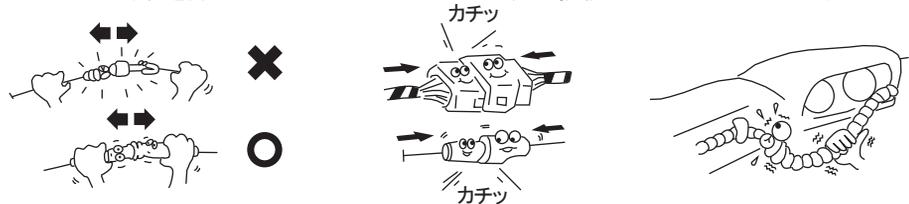
取り付ける前に

- バッテリーの(-)側ケーブルをはずす



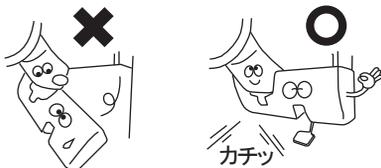
配線は

- コネクタは本体を持ってはずす
- コネクタは確実に接続する
- 無理に引っ張らない



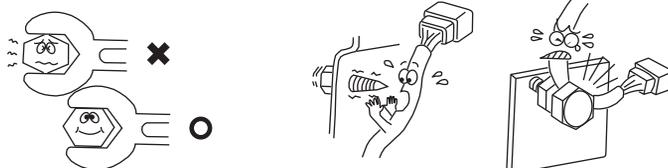
取り付け完了後は

- 取り外した車両部品は確実に復元する



部品の取り付けは

- 寸法にあった工具を使う
- 裏側に注意するハーネスの噛み込みに注意す



⚠ 注意

バッテリー接続中に作業を行う場合は、エアバックセンサーに衝撃を与えないよう充分注意してください

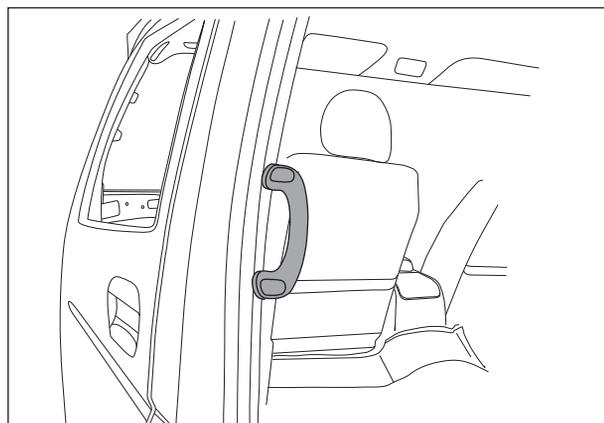
取付に必要な工具等

- ・一般工具、ガムテープ、ビニールシート、ケガキ針、電動ドリル(φ3、φ10)、ホールソー(φ19)、カッターナイフ、ケプラー手袋、画鋸、ヤスリ、スケール、防錆剤、照明、マグネットハンド、トルクレンチ、両面テープ(板厚=0.5mm以下)、マスキングテープ(インプルナット仮固定用)、保護メガネ
- ・参照マニュアル………修理書

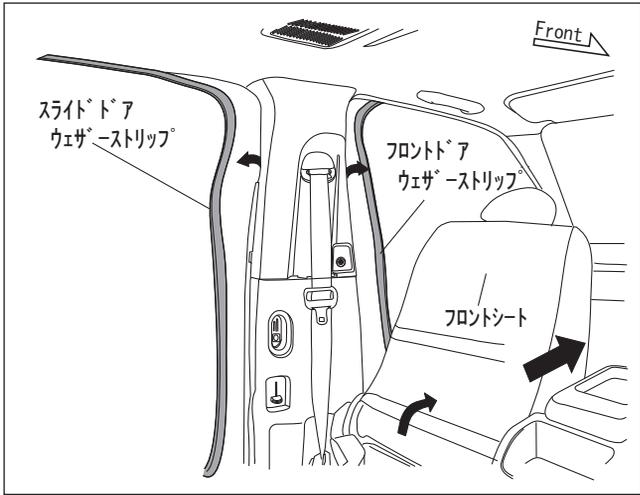
始業点検

ヘッドランプ等、電気システムの作動確認を実施してください。

取付概要

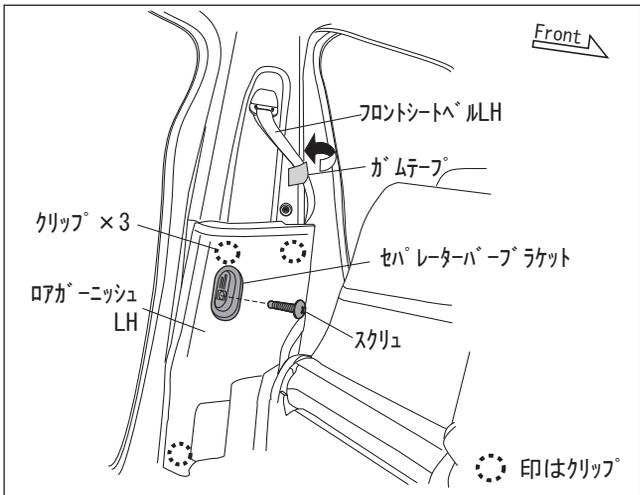


取付要領



車両部品の取りはずし

1. セパレーターバーが取り付けられている際は、セパレーターバーを取りはずす。
2. フロントシートを一番前側に移動し、前に倒す。
3. フロントドアウェザーストリップとスライドドアウェザーストリップを一部、図の様にはずす。

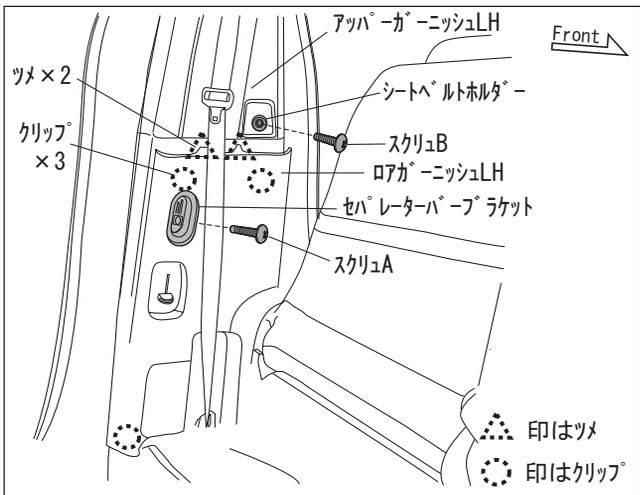


<4. ~6. はアッパーガーニッシュなし車のみ>

4. スクリュ(1個)をはずし、セパレーターバーブラケットを取りはずす。

注意
取りはずしたスクリュおよびセパレーターバーブラケットは車両復元の際に必要なになりますので、大切に保管してください。

5. クリップ(3箇所)をはずし、ロアガーニッシュLHを浮かす。
6. フロントシートベルトLHを図中矢印の方向にずらし、ガムテープで固定する。



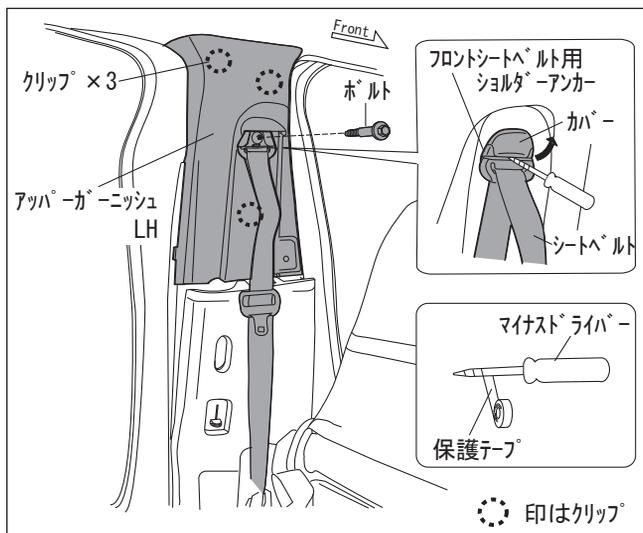
<7. ~11. はアッパーガーニッシュ付き車のみ>

7. スクリュA(1個)をはずし、セパレーターバーブラケットを取りはずす。(セパレーターバー付き車のみ)。

注意
取りはずしたスクリュAおよびセパレーターバーブラケットは車両復元の際に必要なになりますので、大切に保管してください。

8. ツメ(2箇所)及びクリップ(3箇所)をはずし、ロアガーニッシュLHを浮かす。
9. シートベルトホルダーのスクリュB(1個)をはずし、シートベルトホルダーを取りはずす。

注意
取りはずしたシートベルトホルダーおよびスクリュBは車両復元の際に必要なになりますので、大切に保管してください。



10. マイナスドライバーを使用してフロントシートベルト用ショルダアンカーのカバーを開け、ボルト(1個)をはずし、フロントシートベルト用ショルダアンカーをはずす。

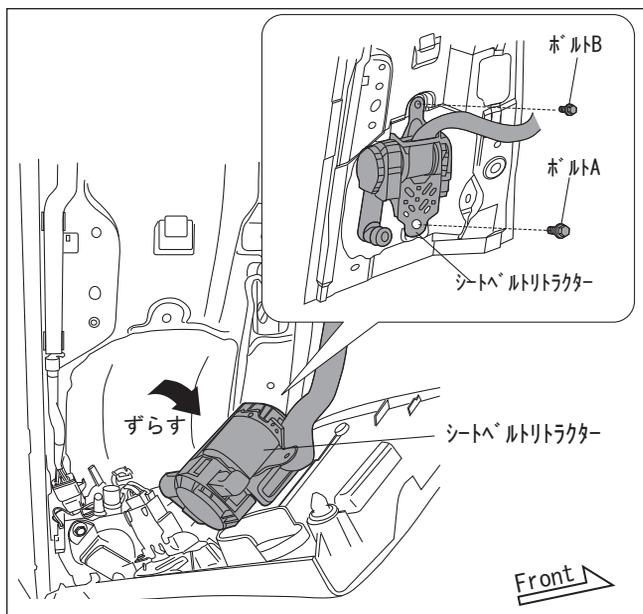
注意

フロントシートベルト用ショルダアンカーのカバーを開ける際はマイナスドライバーに保護テープを巻いてカバーの傷付けに注意してください。取りはずしたシートベルト取り付け用ボルトは車両復元の際必要になりますので、大切に保管してください。

11. クリップ(3箇所)をはずし、アッパーガーニッシュLHを取りはずす。

注意

取りはずしたアッパーガーニッシュLHは車両復元の際必要になりますので、大切に保管してください。

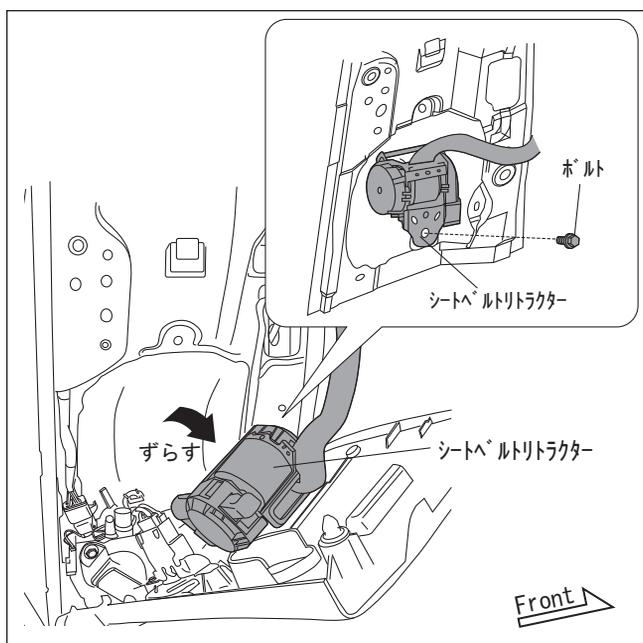


<12. はシートベルトプリテンショナー付き車のみ>

12. ボルトA(1個)とボルトB(1個)をはずし、シートベルトリトラクターをずらす。

注意

- ・シートベルトリトラクターは穴開けの際バリが掛からない所に置いてください。
- ・取りはずしたボルトA・Bは車両復元の際必要になりますので、大切に保管してください。

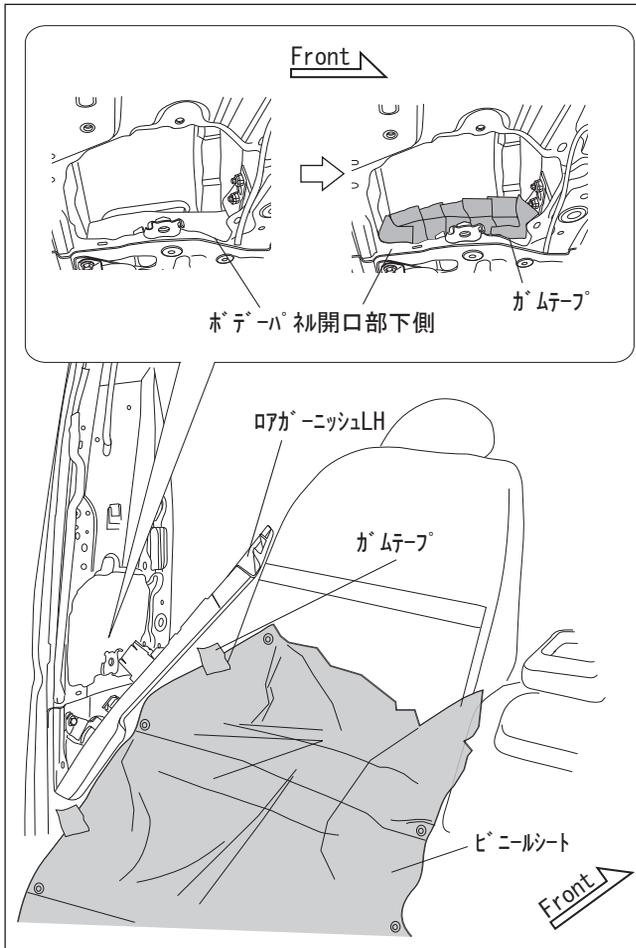


<13. はシートベルトプリテンショナーなし車のみ>

13. ボルト(1個)をはずし、シートベルトリトラクターをずらす。

注意

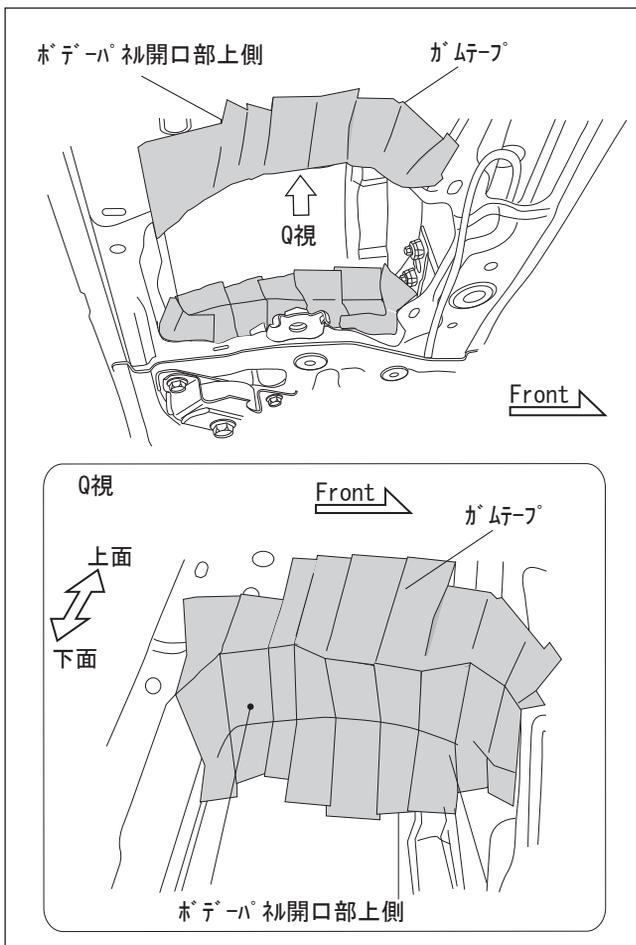
- ・シートベルトリトラクターは穴開けの際バリが掛からない所に置いてください。
- ・取りはずしたボルトは車両復元の際必要になりますので、大切に保管してください。



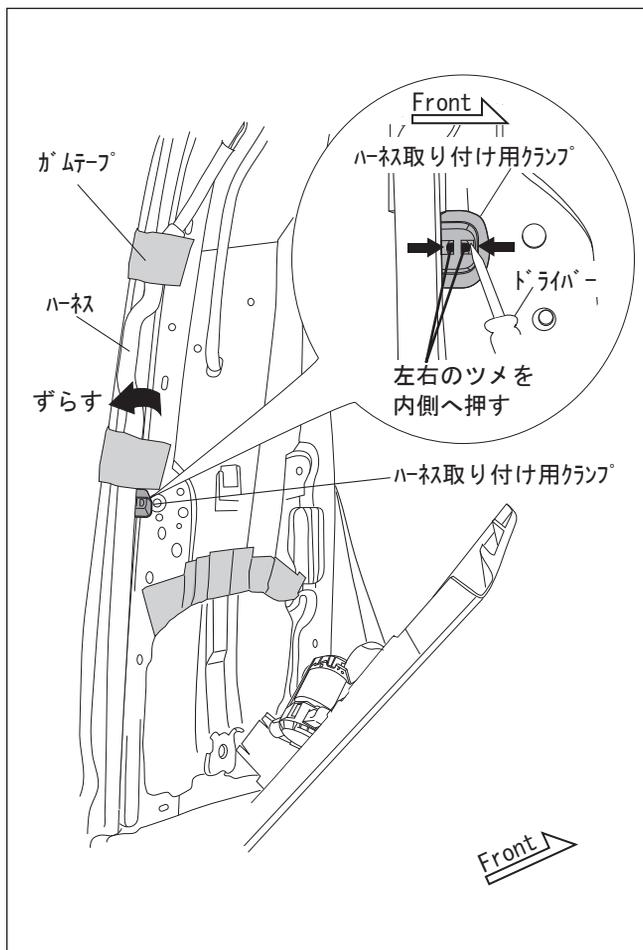
14. 図に従い、ビニールシートをガムテープにてフロアに貼り付け固定する。
15. シートベルトリトラクター取り付け部のボデーパネル開口部下側を図に示す様にガムテープにてマスキングする。

⚠ 注意

ボデーパネル開口部下側は穴開けの際に切り粉がボデーの中に落ち込まないように穴塞ぎのマスキングを必ず実施してください。



16. 図に従い、ガムテープにて切り粉が上側から落ちてくるのを防ぐためにボデーパネル開口部の上側をマスキングする。



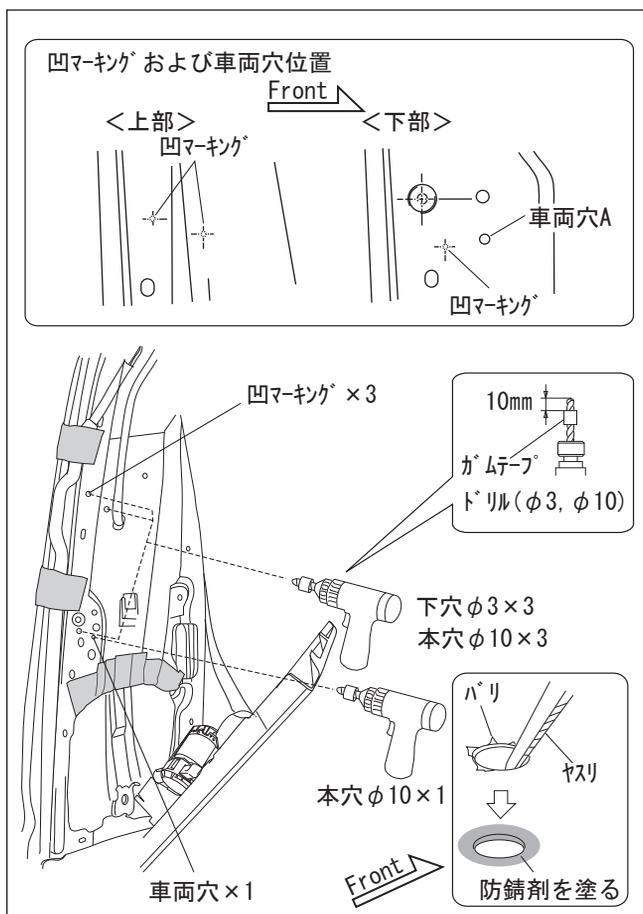
<17. ~18. はアップガーニッシュ付き車のみ>

17. ハーネス取り付け用クランプの左右のツメをはずし、ハーネスをボデー側よりははずす。

アドバイス

ハーネス取り付け用クランプは、クランプの中央部穴よりマイナスドライバーでツメを内側へ押しはずしてください。

18. ハーネスを図中矢印の方向にずらし、ガムテープで固定する。



ボデーパネルの穴開け

1. 図に従い、ドリル(φ3、φ10)にストッパーとなるようガムテープを巻き付ける。
2. ボデーパネルの凹マーキング(3箇所)の中心に、φ3の下穴(3箇所)を開ける。
3. 下穴を開けた箇所および車両穴Aに、φ10の本穴(4箇所)を開ける。

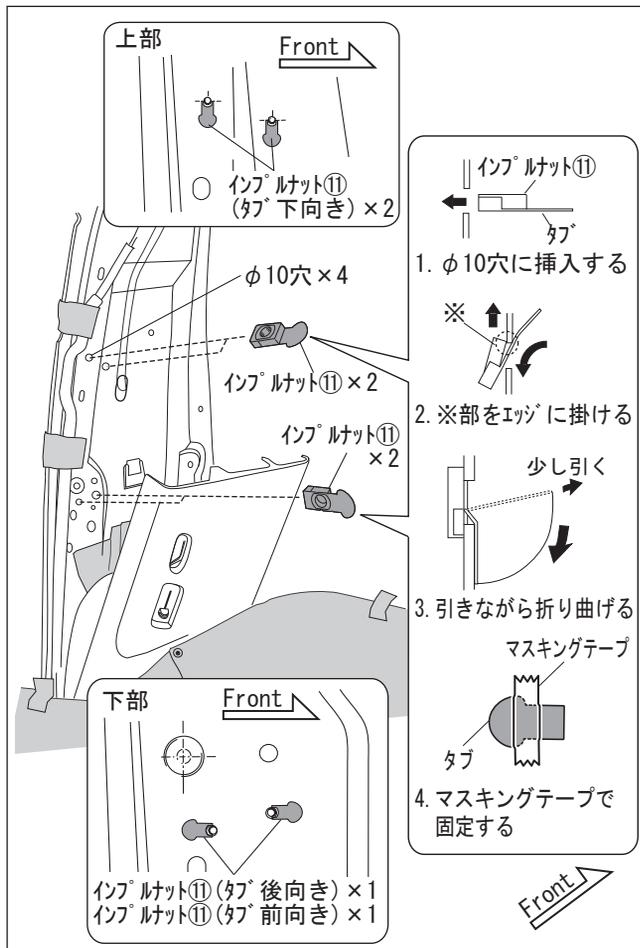
注意

電動ドリルを使用する際は、必ず保護メガネを着用してください。

4. φ10穴開け部のバリをヤスリで取り、防錆剤を塗布(4箇所)する。

アドバイス

防錆剤が完全に乾いてから、次の作業を行ってください。

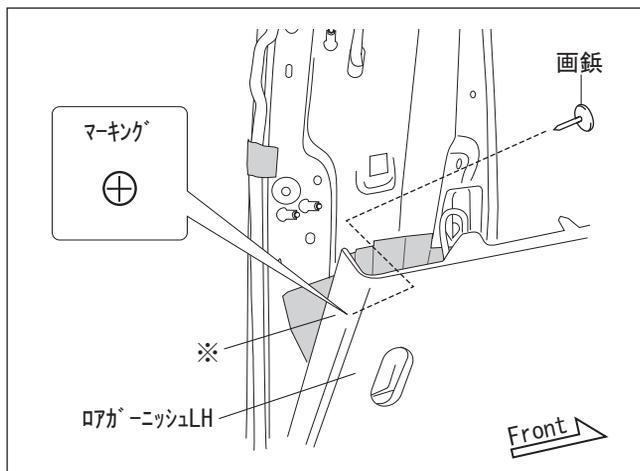


インプルナットの取付

1. 上部のφ10穴(2箇所)に、タブが下向きになるようにインプルナット⑩(2個)を挿入し、マスキングテープにてつまみを固定する。
2. 下部のφ10穴(2箇所)に、タブの向きがそれぞれ後向きと前向きになるようにインプルナット⑩(2個)を挿入し、マスキングテープにてつまみを固定する。

アドバイス

インプルナット⑩は左記要領に従い、脱落および破損のないよう取り付けてください。

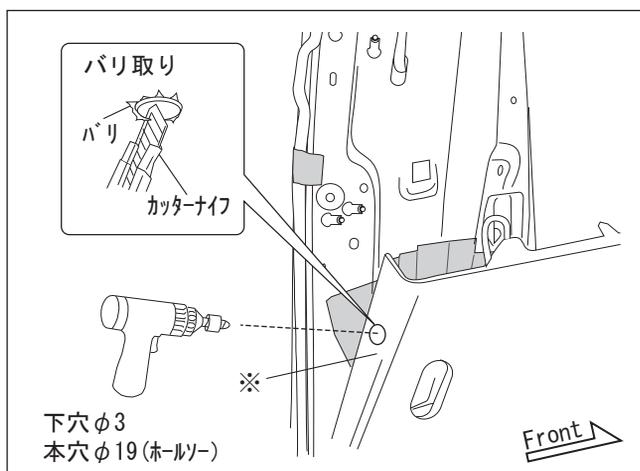


ロアガーニッシュLHの穴開け

1. 図に従いロアガーニッシュLH裏側のマーキング(1箇所)の中心に画鋏で貫通穴を開ける。

アドバイス

画鋏で貫通穴を開ける際は、必ず図中※のロアガーニッシュ面に対して垂直に行ってください。



2. ロアガーニッシュLH表面から画鋏の貫通穴(1箇所)に、φ3の下穴を開ける。
3. 下穴を開けた箇所に、ホールソー(φ19)を使用し、φ19の本穴を開ける。

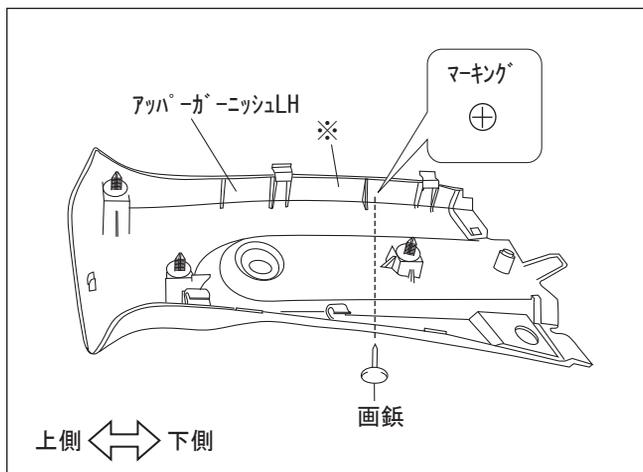
注意

- ・穴開けの際は、必ず図中※のロアガーニッシュ面に対して垂直に作業を行ってください。
- ・電動ドリルを使用する際は、必ず保護メガネを着用してください。

4. 穴開け部の裏表面のバリをカッターナイフで取り除く。

注意

カッターを使用する際は、ケブラー手袋を使用してください。



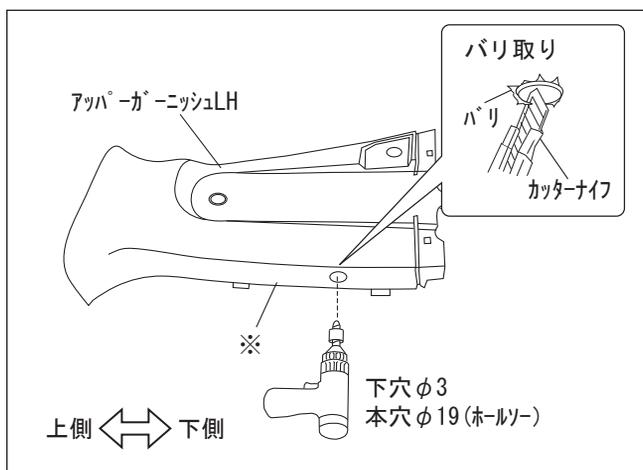
アッパーガーニッシュLHの穴開け

<1.~5.はアッパーガーニッシュ付き車のみ>

1. 図に従い、アッパーガーニッシュLH裏側のマーキング (1箇所)の中心に画鋸で貫通穴を開ける。

アドバイス

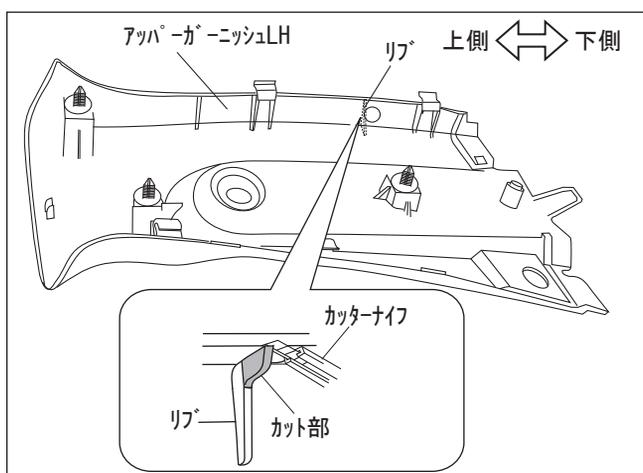
画鋸で貫通穴を開ける際は、必ず図中※の
アッパーガーニッシュ面に対して垂直
に行ってください。



2. アッパーガーニッシュLH表面から画鋸の貫通穴 (1箇所)にφ3の下穴を開ける。
3. 下穴を開けた箇所に、ホールソー (φ19)を使用し、φ19の本穴を開ける。

注意

- ・穴開けの際は、必ず図中※のアッパーガーニッシュ面に対して垂直に作業を行ってください。
- ・アッパーガーニッシュ面の穴開けは図中※の横壁を貫通したら作業を中止してください。
- ・電動ドリルを使用する際は、必ず保護メガネを着用してください。



4. 穴開け部の裏表面のバリをカッターナイフで取り除く。
5. 図に従い、アッパーガーニッシュLH裏面のリブ (網掛部)をカッターナイフでカットする。

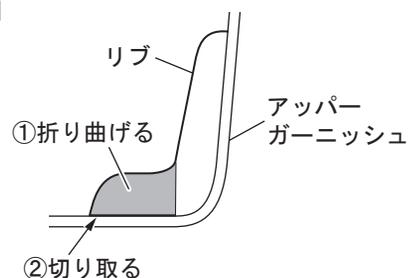
注意

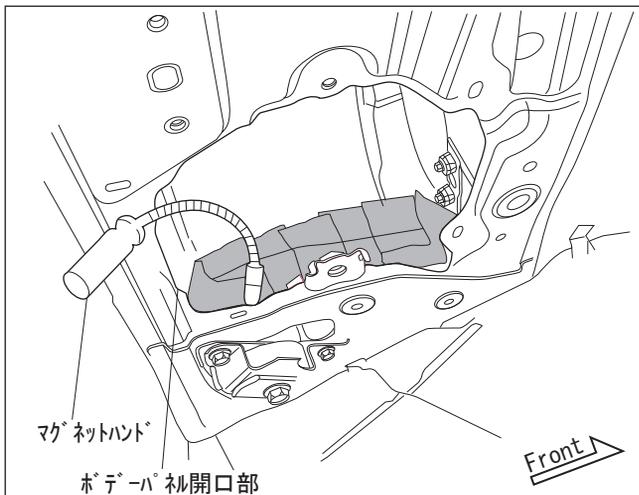
カッターを使用する際は、ケプラー手袋を使用してください。

アドバイス

リブは折り曲げると、手で綺麗にカットすることができます。

断面図



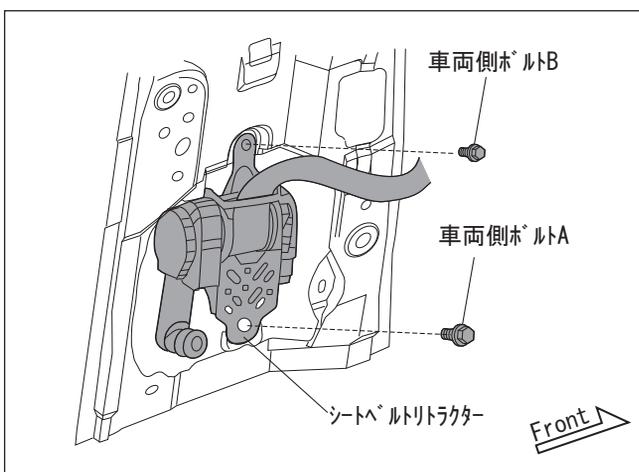


切り粉の処理

1. ボデーパネル開口部上側に貼り付けたガムテープを切り粉が飛散しないように慎重に取りはずす。
2. ボデーパネル開口部下側を照明にて照らし、マグネットハンドを使用して、切り粉を除去する。
3. ボデーパネル開口部下側に貼り付けたガムテープおよびフロアに貼り付けたビニールシートを切り粉が飛散しないように慎重に取りはずす。
4. 再度、ボデーパネル開口部下側を照明にて照らし、マグネットハンドを使用して、切り粉を除去する。

⚠ 注意

- ・錆の原因となるため、切り粉の除去は確実に行ってください。
- ・フロアカーペットの織り目に入った切り粉は、ガムテープを使用して除去してください。



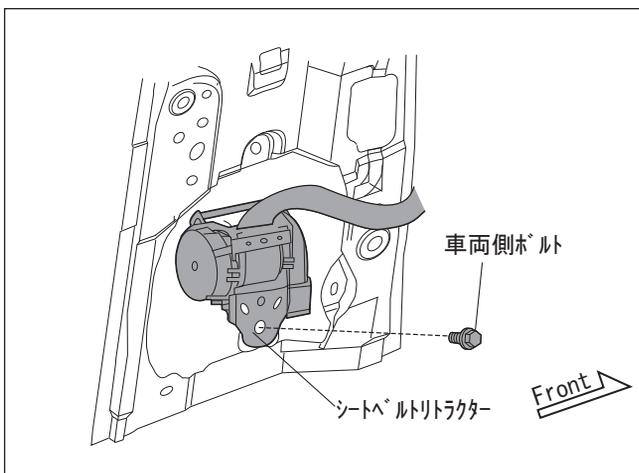
シートベルトリトラクターの復元

<1.~3. はシートベルトプリテンショナー付き車のみ>

1. シートベルトリトラクターを復元位置に合わせ、車両側ボルトA(1個)とボルトB(1個)にて仮締めする。
2. ボルトB(1個)を締め付けトルク $NT=8.5N\cdot m$ で本締めする。
3. ボルトA(1個)を締め付けトルク $NT=42.0N\cdot m$ で本締めする。

⚠ 注意

シートベルトリトラクターの締め付けボルトA・Bはトルクレンチを使用して、必ず上記指定トルクで締め付けを実施してください。

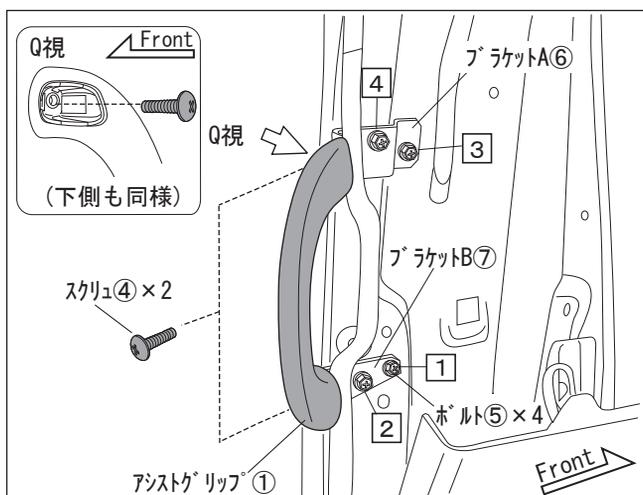
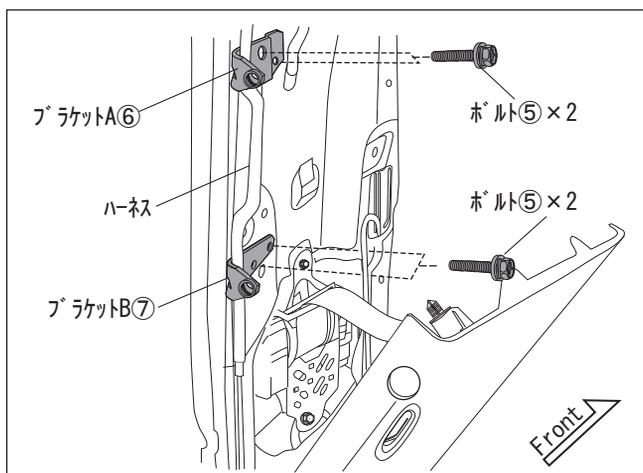
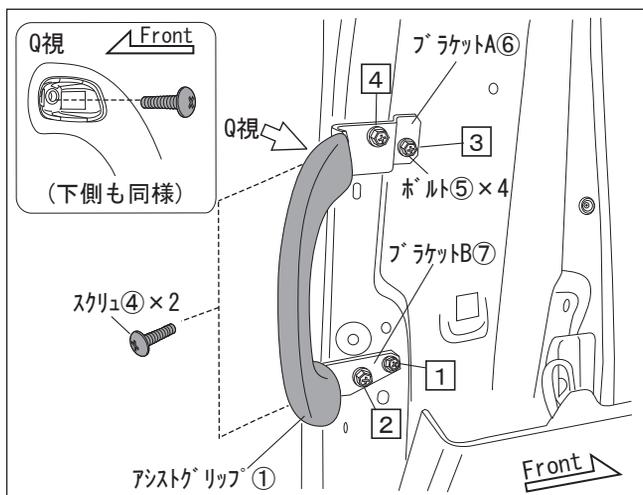
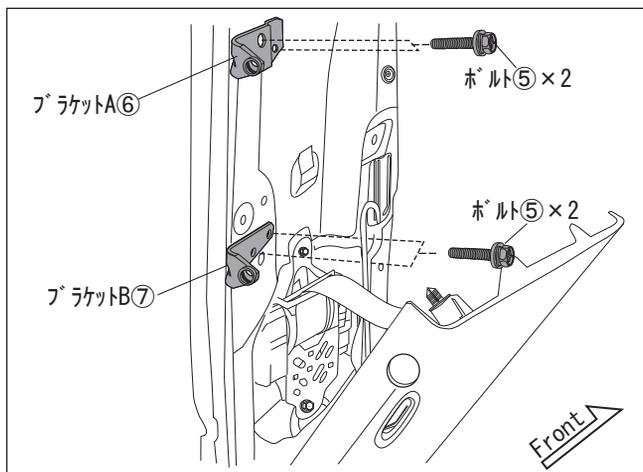


<4. はシートベルトプリテンショナーなし車のみ>

4. シートベルトリトラクターを復元位置に合わせ、車両側ボルト(1個)にて仮締め後、締め付けトルク $NT=42.0N\cdot m$ で本締めする。

⚠ 注意

シートベルトリトラクターの締め付けボルトはトルクレンチを使用して、必ず締め付けトルク $NT=42.0N\cdot m$ で締め付けを実施してください。



ブラケットの取付

<1. ~5. はアッパーガーニッシュなし車のみ>

1. 図に従い、ブラケットA⑥(1個)およびブラケットB⑦(1個)をボルト⑤(4個)にて仮止めする。

2. アシストグリップ①の下側をブラケットB⑦(1個)の穴位置に合わせ、スクリュ④(1個)にて締め付ける。
3. アシストグリップ①の上側をブラケットA⑥(1個)の穴位置に合わせ、スクリュ④(1個)にて締め付ける。
4. 仮止め状態のボルト⑤(4個)を図で示す①~④の順で本締めする。
5. スクリュ④(2個)をはずし、アシストグリップ①を取りはずす。

👉 アドバイス

本作業はブラケットA・Bの締め付け位置を決める作業です。

ブラケットの取付

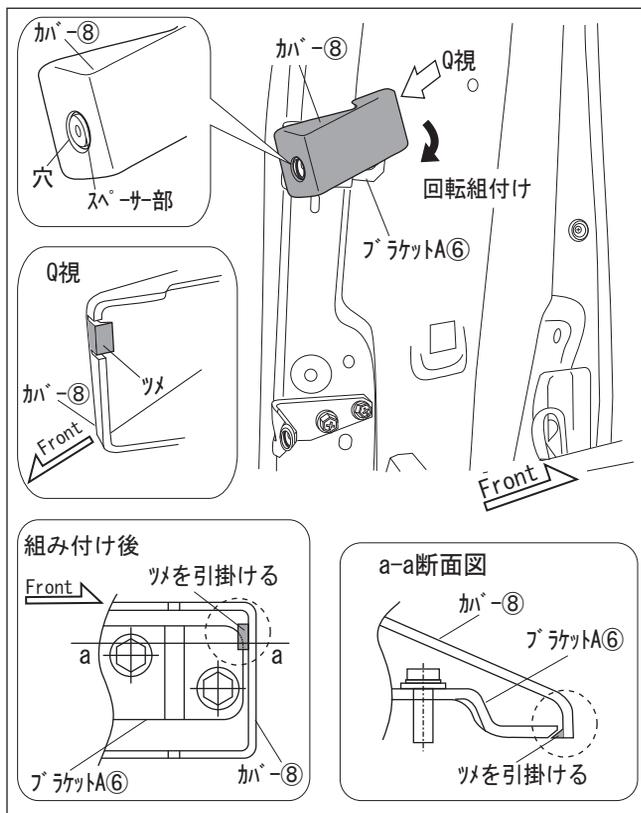
<6. ~10. はアッパーガーニッシュ付き車のみ>

6. ハーネスに貼り付けたガムテープをはがし、図に従い、ブラケットA⑥(1個)およびブラケットB⑦(1個)をハーネスの下にくぐらせてボルト⑤(4個)にて仮止めする。

7. アシストグリップ①の下側をブラケットB⑦(1個)の穴位置に合わせ、スクリュ④(1個)にて締め付ける。
8. アシストグリップ①の上側をブラケットA⑥(1個)の穴位置に合わせ、スクリュ④(1個)にて締め付ける。
9. 仮止め状態のボルト⑤(4個)を図で示す①~④の順で本締めする。
10. スクリュ④(2個)をはずし、アシストグリップ①を取りはずす。

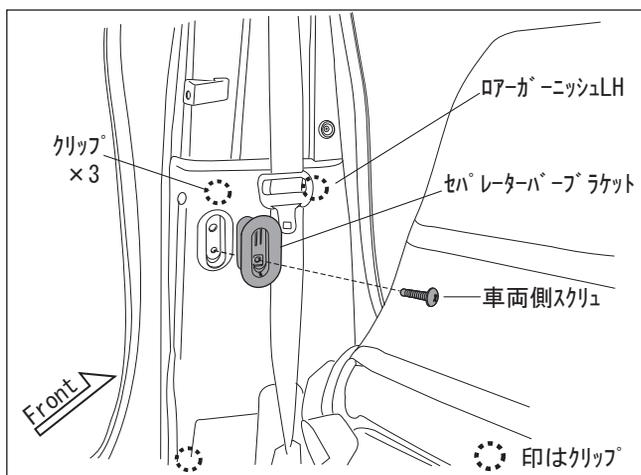
👉 アドバイス

本作業はブラケットA・Bの締め付け位置を決める作業です。



<11. ~12. はアッパーガーニッシュなし車のみ>

11. カバー⑧(1個)の穴をブラケットA⑥(1個)のスペーサー部に合わせる。
12. 図に従い、カバー⑧(1個)を回転させて、ツメ(1箇所)をブラケットA⑥(1個)に引掛け、カバー⑧(1個)を組み付ける。



ロアガーニッシュLHの復元

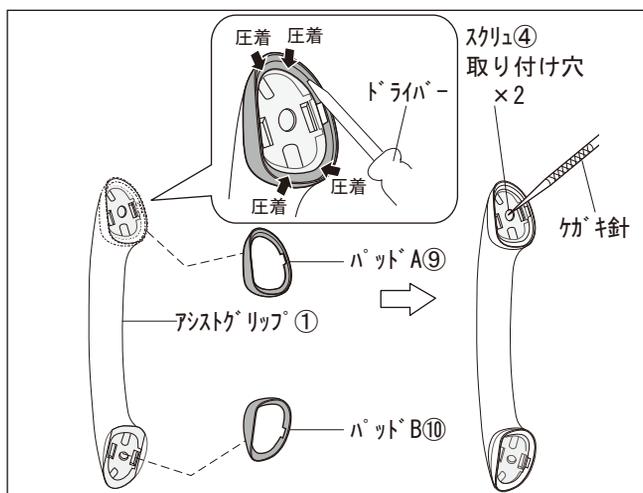
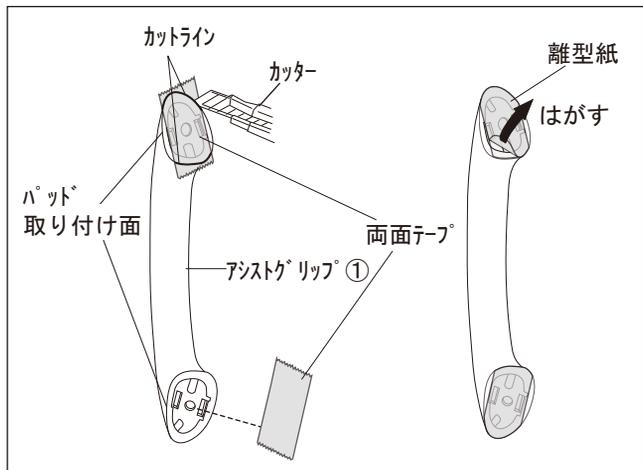
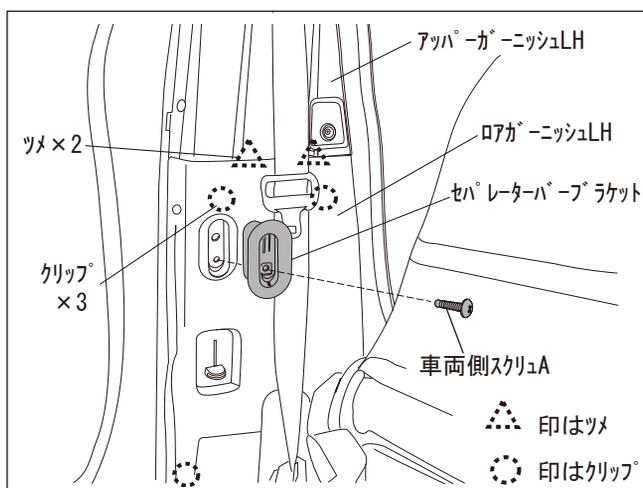
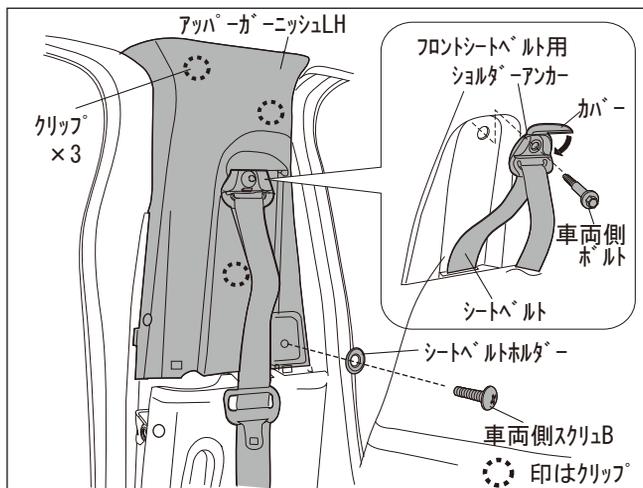
<1. ~3. はアッパーガーニッシュなし車のみ>

1. クリップ(3箇所)を嵌合させ、ロアガーニッシュLHを復元する。
2. セパレーターバーブラケットを復元位置に合わせ、車両側スクリュー(1個)にて復元する。
3. シートベルトを固定したガムテープをはがし、シートベルトを元の位置に戻す。



<4. ~9. はアッパーガーニッシュ付き車のみ>

4. ハーネス取り付け用クランプの左右のツメを嵌合させ、ハーネスを復元する。



- クリップ(3箇所)を嵌合させ、アッパーガーニッシュLHを復元する。
- フロントシートベルト用ショルダーアンカーを復元位置に合わせ車両側ボルト(1個)を仮止め後、締め付けトルクNT=42.0N・mで本締めし、ショルダーアンカーのカバーを閉める。

⚠ 注意

シートベルトの締め付けボルトはトルクレンチを使用して、必ず締め付けトルクNT=42.0N・mで締め付けを実施してください。

- シートベルトホルダーを復元位置に合わせ、車両側スクリューB(1個)にて復元する。
- アッパーガーニッシュLHへロアガーニッシュLHのツメ(2箇所)を嵌め込み、クリップ(3箇所)を嵌合させ、ロアガーニッシュLHを復元する。
- セパレーターバーブラケットを復元位置に合わせ、車両側スクリューA(1個)にて復元する。(セパレーターバー付き車のみ)

アシストグリップへの部品取付

- アシストグリップ①(1個)のパッド取り付け面(2箇所)に両面テープ(板厚0.5mm以下)を貼り付ける。
- 貼り付けした両面テープ(2箇所)をアシストグリップ①の外周形状に合わせて上下部分をカットする。

⚠ 注意

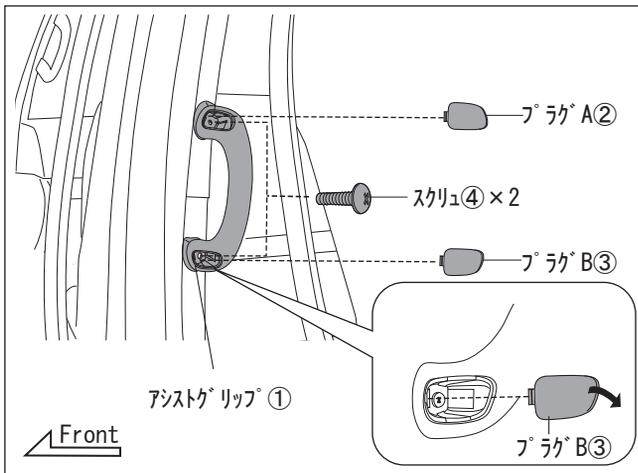
- 両面テープをカットする際、アシストグリップ①に傷を付けないよう充分注意して作業を行ってください。
- カッターを使用する際は、ケプラー手袋を使用してください。

- カットした両面テープの離型紙(2箇所)をはがす。
- 両面テープを貼り付けしたアシストグリップ①の上側にパッドA⑨(1個)を下側にパッドB⑩(1個)を取り付け、両面テープ部を圧着する。

👉 アドバイス

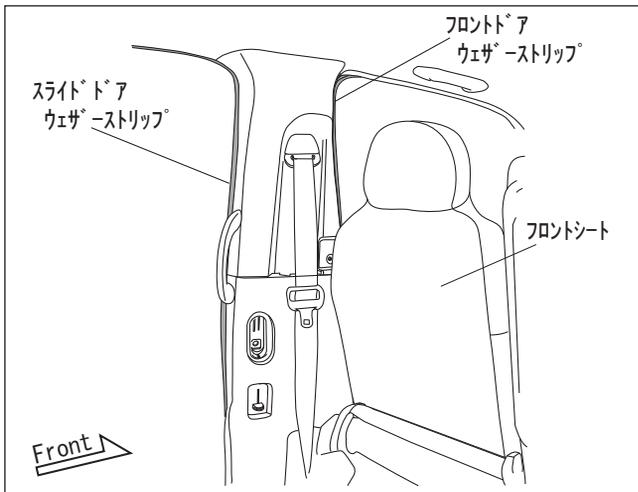
パッドA⑨とパッドB⑩は脱落がない様ドライバー等で両面テープへ圧着してください。

- ケガキ針でスクリュー④が通る程度に貼り付けた両面テープ(スクリュー④取り付け穴位置)に穴を開ける(2箇所)。



アシストグリップの取付

1. パッドA⑨(1個)とパッドB⑩(1個)を取り付けたアシストグリップ①(1個)をブラケットA⑥(1個)とブラケットB⑦(1個)に合わせスクリュー④(2個)で締め付ける。
2. 取り付けたアシストグリップ①にプラグA②(1個)とプラグB③(1個)を取り付ける。



車両の復元

1. フロントドアのウェザーストリップおよびスライドドアのウェザーストリップを復元する。

⚠ 注意

ウェザーストリップを復元する際は、コーナー部では近廻りしないように注意して作業を実施してください。雨漏れの原因になります。

2. フロントシートを戻す。
3. セパレーターバーを取りはずした場合は、セパレーターバーを復元する。

取付完了後の点検・注意事項

1. アシストグリップが車両にボルト類にて確実に固定されているか点検する。
2. 取り付けの際、アシストグリップおよび車両部品に傷を付けていないか点検する。
3. バッテリーの(-)側ケーブルを接続する。

バッテリー復元時の注意事項

バッテリー復元作業終了後に、車両機能部品の初期化が必要な部品があります。作業終了後には必ず初期化作業を行ってください。